

東松島市バイオマス産業都市構想の概要

宮城県東松島市、人口 40,476人、面積 1万ha

構想の概要

「東松島市復興まちづくり計画」の実現に向けて、地域のバイオマスを総動員し、農林水産業・新エネルギー・観光の融合による「防災自立都市」東松島市の実現を目指す。

1. 将来像

- ①防災自立都市
(被災時にも地域内でエネルギー・食料をまかなえるよう自給力を高める)
- ②生業の連携と発展
(農林漁業・新エネルギー・観光を融合展開)
- ③持続可能な経済・社会の確立
(再生可能エネルギー産業の誘致・産業集積、地域循環経済の構築)
- ④スマートシティ関連産業における世界ブランド確立

3. 目標(10年後)

- ①バイオマス利用率:生活生ごみ61%、廃食用油40%、家畜糞尿90%、動植物性残渣(稲藁・粃殻・間伐材・河川敷雑草・早生柳)100%
- ②再生可能エネルギー調達率 120%(現1%未満)
- ③温室効果ガス削減量: 4.1万t-CO₂/年
- ④産業・雇用創出:木質バイオマス発電 16億円/年、64人、バイオガス発電 7億円/年、25人
- ⑤観光産業の拡大(地域資源の観光産業化) 3億円、50人

5. 実施体制

- ・一般社団法人東松島みらいとし機構(HOPE)が会員企業・機関等と連携し、計画策定と実施管理

2. 事業化プロジェクト

- ①バイオガス発電事業
・県内の事業系食品残渣・有機汚泥等のバイオガス化・堆肥化・発電
・排ガス・熱・CO₂を植物工場・農業6次化施設に活用
・消化液の液肥利用・藻類培養
・固形物残渣の堆肥販売
- ②木質バイオマス発電事業
- ③スマートグリッド整備

4. 地域波及効果

- 【10年後の波及効果】
- ①バイオマス利用率向上(目標値参照)
 - ②再生可能エネルギー調達率 120%(現1%未満)
 - ③産業・雇用創出 26億円、139人
 - ④温室効果ガス削減量 4.1万t-CO₂/年
 - ⑤廃棄物再生利用率 生活生ごみ61%(現0%)
 - ⑥廃棄物処理費削減額 600万円/年
 - ⑦日帰り観光客3万人/年、宿泊観光客3千人/年の増

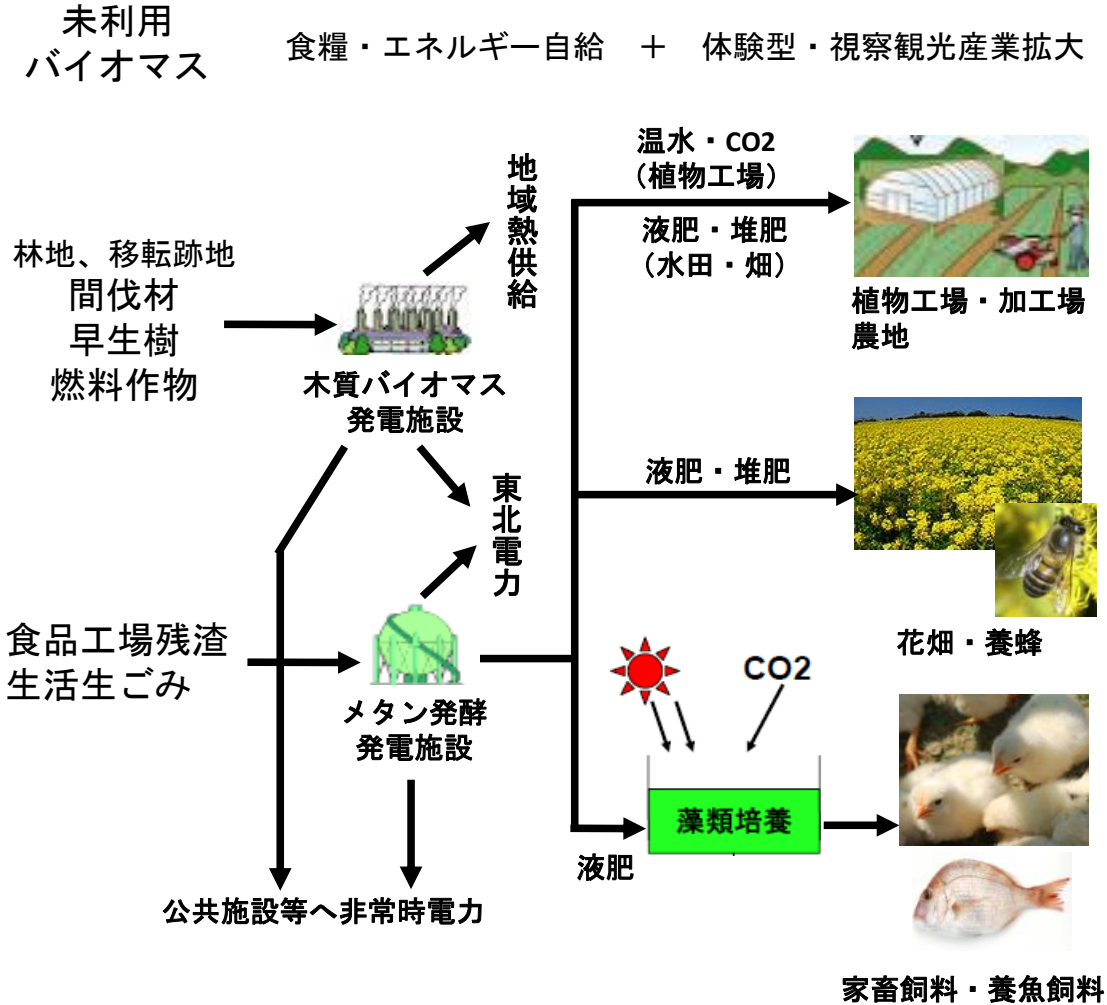
6. その他

- ・復興まちづくり計画(H23)
- ・環境未来都市計画(H24)
- ・復興推進計画(H24)
- ・地域エネルギービジョン(H24)

東松島市 バイオマス産業都市構想 全体概要図

目指すべき将来像

食糧・エネルギー自給 + 体験型・視察観光産業拡大



産業集積区域（復興推進計画）

